

椋山女学園大学教育改革 2022

本学の個性や特色を活かし、学生等の多様なニーズに質の高い教育で応えていくため、本学では、学長のリーダーシップの下、毎年「椋山女学園大学改革アクションプラン」を策定し、教育改革に取り組んでおります。

2022年度は「椋山女学園大学中長期計画 2020年4月～2030年3月」の実施計画第一期の最終年度として、引き続き新型コロナウイルス感染症への対応に取り組みながら、学びの継続及びさらなる教育改革を推進すべく、「椋山女学園大学改革アクションプラン 2022」を策定いたしましたので、ここに概要を報告いたします。

教育内容の充実

- ・教養教育科目の充実

2022年度から年次進行で実施される高校の情報科「情報Ⅰ（プログラミングを含む必修科目）」やより高度な内容を含む「情報Ⅱ」（選択科目）を履修した学生への対応を踏まえて、本学における情報リテラシー教育のあり方・授業内容（クラス編成、到達目標）について検討を進めます。

学修支援

- ・学生の主体的な学修のサポート

学生総合満足度調査などをもとに、学生が主体的に学ぶことができるスペースの拡充の検討を進めます。

- ・図書館機能の充実

ライブラリーサポーター「リブラリーブ」のこれまでの活動実績や内容を踏まえて、さらに学修の主体性を涵養できるような方策を検討します。

学生生活

- ・可能性を広げる機会の提供

2022年度～2026年度の国際化ビジョンに基づき、椋山女学園大学の教育内容や組織にふさわしいグローバル教育を進めていきます。

- ・安心・安全を生む危機管理体制の整備

「椋山女学園大学危機管理マニュアル」に基づき、危機事象に応じて対応するとともに、大学全体の防災訓練を計画し、安否確認システムを順次導入していきます。

キャリア支援

- ・キャリア育成センターの充実

Web 面接や動画エントリーを使って学生が就活できるように、さらなる支援体制・環境整備の充実を進めます。

- ・ニーズを把握するアンケート調査の実施とフィードバック

在学生及び卒業生にアンケート調査を実施し、データに基づいてキャリア教育の見直しを行います。

学生確保

- ・適時的なアドミッション・ポリシー

時代の変化と社会のニーズを踏まえ、適時性のあるアドミッション・ポリシーを編成し、入学者選抜実施方法との整合性を見直します。

社会連携

- ・地域内外における他大学、行政組織との連携

他大学との連携を推進し、学生や教員の知的活動の活性化を図ります。また、名古屋市、千種区、名東区、日進市をはじめ、東海地区の行政組織との連携を進め、学生ボランティアや教職員の派遣など、さらなる活性化を図ります。

マネジメント

- ・総合学園のメリットを活かした教育の展開

保育園、こども園、幼稚園から大学・大学院までを擁する総合学園のメリットを活かし、学園内の各園・各校と連携した教育をさらに進めていきます。